

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保		施策	1-1 水源の保全と確保		事業	1-1-1 県水受水の安定化		担当課	浄水課	
総事業費			38,448,081千円		事前・中間評価									
計画額	令和元年度(予算額)		令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度(予算額)	令和6年度(予算額)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
	3,861,147千円		3,895,049千円	3,873,674千円	3,888,014千円	3,866,947千円	3,800,756千円	3,823,114千円	3,787,911千円	3,764,534千円	3,886,935千円			
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・水需要及び配水量の実績をもとに、次年度の受水量を的確に予測し、県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と合わせ、安定給水量の調整を行います。 ・埼玉県との情報交換を密にし、連携強化を図ります。		・安定した県水受水量を確保するために、配水量などの実績を基に次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と合わせ、安定給水量の調整を行います。 ・埼玉県の年次点検による県水停止において安定した配水ができるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定給水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても安定した給水ができるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。					
	総事業費			19,137,675千円		終了時評価								
決算額	3,843,512千円		3,837,422千円	3,843,538千円	3,815,603千円	3,797,600千円								
達成状況	①市内の洗管作業排水を考慮した県水受水量を予測し、令和2年度の県水受水量を確保した。 ②事業1-1-2「自己水源の確保」と合わせ、安定給水量の調整ができた。 ③各浄配水場において、工事に伴う県水配分変更があったが、埼玉県との連絡調整を行い安定した県水の受水ができた。		・来年度の工事状況を考慮して、県水受水量の申請をし承認されました。 ・生活様式の変化に伴い給水量が増えましたが、自己水源を利用し安定した給水ができました。 ・埼玉県と連携を密にし、点検日に向けた運用体制を調整し、安定した給水ができました。	・給水人口と一人一日平均給水量の実績から令和4年度の県水受水量を予測値を県へ申請し、県から県水受水量が承認されました。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と合わせ、安定した給水量の調整ができました。 ・埼玉県と連携を密にし、点検日に向けた運用体制を調整し、安定した給水ができました。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても埼玉県と連携を密にし、安定した給水ができました。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても埼玉県と連携を密にし、安定した給水ができました。								